

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年3月23日(2006.3.23)

【公表番号】特表2002-502827(P2002-502827A)

【公表日】平成14年1月29日(2002.1.29)

【出願番号】特願2000-530232(P2000-530232)

【国際特許分類】

A 6 1 K	39/21	(2006.01)
A 6 1 K	39/108	(2006.01)
A 6 1 K	39/295	(2006.01)
A 6 1 K	39/385	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/18	(2006.01)
C 0 7 H	21/02	(2006.01)
C 0 7 H	21/04	(2006.01)
C 1 2 Q	1/70	(2006.01)
C 1 2 N	15/09	(2006.01)
A 6 1 K	35/74	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	39/21	
A 6 1 K	39/108	
A 6 1 K	39/295	
A 6 1 K	39/385	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 P	31/18	
C 0 7 H	21/02	
C 0 7 H	21/04	
C 1 2 Q	1/70	
C 1 2 N	15/00	A
A 6 1 K	35/74	A

【手続補正書】

【提出日】平成18年1月25日(2006.1.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ヒト免疫不全ウイルス(HIV)タンパク質をコードする遺伝子に融合されたバクテリア表面上での発現のために必要な遺伝子を含む組換えプラスミドを含むヒト免疫不全ウイルス用の生ワクチンにおいて、前記組換えプラスミドが弱毒化されたバクテリアホストに電気穿孔法で組み込まれている生ワクチン。

【請求項2】

表面露出のために必要な遺伝子が大腸菌(E.coli)外膜タンパク質o m P Aの一部に結合した大腸菌(E.coli)リボタンパク質シグナル配列をコードする請求項1に記載のワクチン。

【請求項3】

遺伝子がコードするヒト免疫不全ウイルスタンパク質が逆転写酵素及びトランスアクティベーティングタンパク質で構成される群から選択される請求項1に記載のワクチン。

【請求項4】

弱毒化されたバクテリアホストがサルモネラ・ティフィムリウム(*Salmonella typhimurium*)のSL3261株である請求項1に記載のワクチン。

【請求項5】

治療を必要とするヒトに請求項1に記載のワクチンを投与するステップを含むヒト免疫不全ウイルス抗原に特異的な免疫応答を開始させる方法。

【請求項6】

ヒト免疫不全ウイルス抗原が逆転写酵素及びトランスアクティベーティングタンパク質で構成される群から選択される請求項5に記載の方法。

【請求項7】

免疫応答が粘液性IgA応答とヘルパーT細胞応答を含むものである請求項5に記載の方法。

【請求項8】

ワクチンが経口投与される請求項5に記載の方法。

【請求項9】

ワクチンが約 $10^{12} \sim 10^{14}$ CFU(コロニー形成単位)で投与される請求項5に記載の方法。